

4. 火災の実態

1 火災の概要

令和6年中の火災は、出火件数2,040件、損害額6,108,069千円、死者数70人、建物焼損床面積44,774㎡、建物焼損表面積6,706㎡、林野焼損面積615a、焼損棟数1,438棟、り災世帯数942世帯、り災人員1,916人となった。前年と比較した火災の状況は次のとおりである。

なお、令和6年中の火災の発生を一日当たりでみると、出火件数 約5.6件、損害額 約16,689千円、死者数 約0.2人、建物焼損床面積 約122.3㎡、建物焼損表面積 約18.3㎡、林野焼損面積 約1.7a、焼損棟数 約3.9棟、り災世帯数 約2.6世帯、り災人員 約5.2人である。

区 分	令和6年 ㉠	令和5年 ㉡	対前年増減数 ㉢＝㉠－㉡	増減率 $\frac{㉢}{㉡} \times 100$ (%)
出火件数	2,040	2,105	-65	-3.1
建物火災	977	983	-6	-0.6
林野火災	65	83	-18	-21.7
車両火災	151	182	-31	-17.0
船舶火災	2	4	-2	-50.0
航空機火災	1	0	1	—
その他火災	844	853	-9	-1.1
焼損棟数	1,438	1,452	-14	-1.0
り災世帯数	942	866	76	8.8
り災人員（人）	1,916	1,846	70	3.8
焼損面積				
建物床面積（㎡）	44,774	50,602	-5,828	-11.5
建物表面積（㎡）	6,706	4,871	1,835	37.7
林野（a）	615	2,346	-1,731	-73.8
損害額（千円）	6,108,069	7,296,399	-1,188,330	-16.3
建物火災	5,585,754	5,556,686	29,068	0.5
林野火災	1,085	1,355	-270	-19.9
車両火災	117,114	192,510	-75,396	-39.2
船舶火災	5,453	6,762	-1,309	-19.4
航空機火災	194,350	0	194,350	—
その他火災	203,686	1,536,901	-1,333,215	-86.7
爆発	627	2,185	-1,558	-71.3
死者（人）	70	69	1	1.4
負傷者（人）	293	273	20	7.3

（注）ア 建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

イ 林野火災とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

ウ 車両火災とは、原動機によって運行することができる車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

- エ 船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。
 オ 航空機火災とは、航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。
 カ その他の火災とは、アからオまでに掲げる火災以外の火災をいう。
 キ 爆発とは、人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

2 出火件数

(1) 総出火件数は、2,040件で前年と比べて65件減少している。これを火災種別でみると、次のとおりである。

種別 年	総出火件数	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
令和6年	2,040件 (100.0%)	977件 (47.9%)	65件 (3.2%)	151件 (7.4%)	2件 (0.1%)	1件 (0.0%)	844件 (41.4%)
令和5年	2,105件 (100.0%)	983件 (46.7%)	83件 (3.9%)	182件 (8.7%)	4件 (0.2%)	0件 (0.0%)	853件 (40.5%)

(2) 月別出火件数

月別出火件数は、次のとおりである。火災は、12月から3月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	253	220	223	130	129	141	131	169	137	102	147	258	2,040

(3) 出火率

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は、県平均 約3.25件となっている。

3 損害額

火災による損害額は6,108,069千円で、前年比1,188,330千円（－16.3%）減少した。また、1日当たりでは 約16,689千円（前年 約19,990千円）、1件当たりでは 約2,994千円（前年 約3,466千円）となっている。

4 出火原因

出火原因別火災発生件数は、次のとおりである。

総出火件数	放火・放火の疑い	たき火	たばこ	火入れ	電灯電話等の配線	その他
2,040件 (100.0%)	272件 (13.3%)	212件 (10.4%)	157件 (7.7%)	148件 (7.3%)	134件 (6.6%)	1,117件 (54.8)

※その他には、上記以外の出火原因21区分及び不明・調査中を含む

5 死傷者の実態

(1) 死傷者数

火災による死者は70人、負傷者は293人で、前年に比べて死者は1人増加（前年比1.4%

増) し、負傷者は20人増加(前年比7.3%増)した。

(2) 火災種別にみる死傷者数

火災種別ごとの死傷者発生状況は、次のとおりである。

火災種別	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
死者数	58 (82.9%)	0 (0.0%)	3 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (12.8%)	70 (100.0%)
負傷者数	236 (80.5%)	5 (1.7%)	18 (6.1%)	2 (0.7%)	0 (0.0%)	32 (11.0%)	293 (100.0%)

(3) 月別の死傷者数

月別死傷者数は、次のとおりである。死傷者は、11月から2月にかけて多く発生する傾向がある。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
死者数	13	11	6	4	3	2	1	2	5	3	8	12	70
負傷者数	26	37	27	16	24	13	20	30	23	11	31	35	293

(4) 年齢層別の死者数

年齢層別死者数は次のとおりであり、51歳以上が全体の約9割を占めている。

区分	0歳～ 20歳	21歳～ 30歳	31歳～ 40歳	41歳～ 50歳	51歳～ 60歳	61歳～ 70歳	71歳 以上	不明	合計
死者数	0 0.0%	1 1.4%	3 4.3%	2 2.9%	17 24.3%	8 11.4%	36 51.4%	3 4.3%	70 100.0%

(5) 死因別死者数

死因別死者数は次のとおりであり、死者は、一酸化炭素中毒・窒息で多く死亡している。

区分	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他・不明	合計
死者数	18 25.7%	14 20.0%	1 1.4%	11 15.7%	26 37.2%	70 100.0%